

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	コベルプラス南小倉駅前教室（保育所等訪問支援）		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 6日		～ 2025年 10月 5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2025年 9月 6日		～ 2025年 10月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	2025年 9月 6日		～ 2025年 10月 5日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家族からの相談しやすい環境づくりで、相談や申入れがあった際に迅速かつ適切に対応できる。	訪問支援実施後に必ず保護者とのフィードバック時間を設けてもらうようにし、情報共有をしている。また、訪問用携帯がある為、保護者から訪問員にいつでも悩み等に対する相談ができるようにしている。	引き続き、保護者の声に傾聴することを心掛けながら、気軽に相談しやすい環境をつくり、悩み等に対する相談に適切に対応していく。必要な助言と支援を行うことができるよう、研修や事例検討会等にも積極的に参加し知識や技術の獲得を行っていく。
2	職員間で共有された保育所等訪問支援計画に沿った支援を行うことができる。	毎回、同じ訪問員が訪問することで、訪問先との信頼関係を築きやすくし、情報共有に齟齬無く支援を行うことができるようにしている。	専門的支援ができるよう、研修や事例検討会等にも積極的に参加し、利用者、利用者家族、訪問先での課題や困りごとが解消または軽減ができるように努めていく
3	コベルプラス南小倉駅前教室で児童発達支援と保育所等訪問支援の併用をしている利用者に、一貫した支援や情報共有を行うことができる。	児童発達支援を利用している方を中心に保育所等訪問支援のご案内をしている為、コベルプラス南小倉駅前教室での利用者の様子を把握した状態で訪問でき、園での困りごとや課題等を個別療育で取り組むこともできるようにしている。	保育所等訪問支援員と児童発達支援の職員が打ち合わせする時間を設け、支援内容等の情報共有し、こどもの発達状況や課題について共通理解を含めた支援を行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の機会が行なわれていない。	事業が始まったばかりで、契約やアセスメント、初回訪問を終えた程度の支援回数のため、まだペアレント・トレーニングまで実施できていなかった。	ペアレント・トレーニングの案内を始め、希望者に実施しながら取り組みを継続していく。
2	児童発達支援の職員が当日の訪問支援について、支援開始前の支援内容確認や支援終了後の支援の振り返り等の共有機会が少ない。	訪問支援は訪問員1名と児童発達支援管理責任者で主に行っているため、支援前の情報共有や支援内容・次回支援内容の確認が2名だけになってしまう時が多かった。	児童発達支援と併用している利用者もいるため、保育所等訪問支援員と児童発達支援管理責任者だけの情報共有にせず、児童発達支援の職員とも打ち合わせる時間を事前に多く設け、支援内容や課題等を確認していく。